

アートプロジェクト

シティゲーム

本プロジェクト「シティゲーム」は、近隣住民や通行人を対象に公共空間での新たな関係性の構築を目指す。ゲームの形式を通じて、人と人、人と空間とのつながりを再編し、古い都市空間に新たな状況を生み出す。現地調査とマッピングにより、地域住民の日常の動線を把握し、観察と探索を通じて生活に潜む課題を見出す。その上で、課題に対応した独自のゲームルールを設定し、参加者が能動的に空間の可能性を再発見できる仕組みを構築する。過去に中国で実施された同様のプロジェクトの経験も応用される。

本プロジェクトは、過度な都市化によって生じた人と人との距離、感情の希薄化といった社会問題への応答である。ゲームという手法は、都市構造の制約を迂回し、日常に埋もれた純粋な感情や経験を引き出し、空間との情緒的つながりを再構築する可能性を持つ。現時点では特別な人員は必要としていないが、状況に応じて柔軟に対応する予定である。

Shi Yuxin (中国)

シー・ユシン

学部では版画を専攻していたが、卒業後は、作品の方向性を版画から、ゲームを用いてコミュニティや人々とのつながりを構築する実践へと転換させた。版画、インタラクティブインスタレーション、パフォーマンスなどのさまざまな表現をゲームと組み合わせ、都市の遊歩 (dérivé) やフィールドリサーチなどの調査方法を得意とする。現在は、社会のプロファイルに合わせたゲームの設計に取り組んでおり、ゲームを打破する現実的な方法を見つけ、普段の「身近な」状況に新たな局面を生み出そうとしている。彼女は本物のゲームマスターになりたいと考えている。

市民参加のかたち：ワークショップ・展示鑑賞

